

# 新規事業概要説明資料

平成16年 6月 1日 現在

## 1. 事業概要

事業名	一般国道211号(第1工区) 道路改築事業		
事業箇所	八幡西区町上津役東二丁目～上の原三丁目		
事業化年度	平成16年度	事業期間	平成16年度～平成21年度
全体事業費	6,500百万円	事業区分	道路事業(補助事業)
事業担当課	建設局道路部道路建設課		
事業概要	<p>延長 L=1,700m            標準幅員 W=30m            車線数 車道:4車線(3.50m)            歩道:両側(5.50m)</p>		
事業目的	<p>本路線は、本市西部を南北に貫く重要な幹線道路であり、土地区画整理事業や大規模住宅団地の開発が進められてきたことから、沿道住宅からの発生交通は本路線に集中し、交通渋滞が著しい状況である。            したがって、地域交通の円滑な流れを確保するため、現在の2車線から4車線に拡幅整備するものである。</p>		
事業を必要とする地域の課題	<p>本路線の、上の原三丁目から終点側引野間は4車線であるが、上の原から町上津役間は交通量が多い路線であるにもかかわらず2車線であるため交通渋滞が著しい区間である。            また、バス停付近においては、バスカットされていないためバスが停車すると渋滞を引き起こす状況にある。            本路線は、一部通学路であり、商店が多いにもかかわらず歩道幅員が狭小であるため非常に危険な状態にある。</p>		

## 2. 事業費

(単位：百万円)

		総事業費(計画)
事業費	工事費	1,063
	用地・補償費	5,139
	調査費	120
	事務費	178
	計	6,500
財源内訳	一般財源	1,950
	国庫支出金	3,250
	県支出金	
	地方債	1,300
	その他	

説明資料作成時点での見込み

## 3. 事業の投資効果

- ・ バス路線の利便性の向上が期待でき、円滑なモビリティが確保できる。
- ・ 上の原土地区画整理事業との連携により、都市の再生に寄与する。
- ・ 日常活動圏中心都市へのアクセスが向上する。
- ・ 自転車歩行者道の整備により、安全な生活環境が確保できる。
- ・ 緊急輸送道路ネットワーク計画及び地震防災緊急事業五ヵ年計画に位置づけられた道路であり、災害に対する機能が向上する。

費用対効果 B / C = 1 . 5

## 4. 地元合意形成の見通し

地元から渋滞解消並びに安全な歩道空間の要望があり、事業に対して協力的である。

## 5. 事業のスケジュール

平成16年度 事業説明会、用地測量、用地買収  
 平成17年度～平成18年度 用地買収、工事  
 平成19年度～平成21年度 工事